

数 学

第 76 卷

2 0 2 4

日 本 数 学 会 編 集
岩 波 書 店 発 売

数 学 第 76 卷 総 目 次

論 説

新 國 亮：空間グラフのトポロジーと内在的性質…1	松 村 慎 一：複素幾何に現れる“非負曲率性”に 対する構造定理……………252
Benoît Collins：ランダム行列と自由確率論……………113	山 木 亨 彦：幾何的ボゴモロフ予想とその進展……………282
菊 地 克 彦：Multiplicity-free 作用に関する不変 微分作用素……………136	藤 田 健 人：オクンコフ体と K 安定性 ——Abban-Zhuang の理論の概説——…337
糟 谷 久 矢：——多様な例と構造，ホッジ理論およ び変形理論……………155	岸 本 崇：代数幾何学とシリンドラー……………358
廣 恵 一 希：代数的線型常微分方程式とルート系…225	古宇田悠哉：写像類群と Heegaard 分解——Goeritz 群に関する研究の進展……………387

日本数学会賞小平邦彦賞

鎌 田 聖 一：第 2 回日本数学会賞小平邦彦賞に よせて……………181
鎌 田 聖 一：伊原康隆 ‘数論の研究’……………182
鎌 田 聖 一：儀我美一 ‘非線形問題の数理解析’……………183
鎌 田 聖 一：福島正俊 ‘確率解析におけるディリ クレ形式の方法’……………184
鎌 田 聖 一：森田茂之 ‘特性類の幾何学’……………185
鎌 田 聖 一：2023 年度日本数学会賞秋季賞 Benoît Collins ‘ランダム行列と自由 確率論’……………187
植 田 好 道：Benoît Collins 氏の業績……………188
鎌 田 聖 一：2024 年度日本数学会賞春季賞 藤田健人 ‘Fano 多様体の K 安定性の 研究’……………414
尾 高 悠 志：藤田健人氏の業績 ——Fano 多様体の K 安定性判定法の 双有理幾何学的な研究——……………415
編 集 部：2023 年度日本数学会賞建部賢弘賞 受賞者紹介……………196

フィールズ賞受賞者紹介

本 橋 洋 一：James Maynard 氏の業績 ——‘素数列の有界間隙’ 証明摘要——…27
関 真一朗：Maryna Viazovska 氏の業績 ——魔法関数の構成——……………38
坂 井 哲：Hugo Duminil-Copin 氏の業績 ——仲間との徹底的な議論を楽しむ博 識家——……………48
前 野 俊 昭：June Huh 氏の業績……………60

IMU アバカス・メダル受賞者紹介

河 村 彰 星：Mark Braverman 氏の業績……………67

ガウス賞受賞者紹介

中 野 史 彦：Elliott Hershel Lieb 氏の業績……………72
--

チャーン賞受賞者紹介

落 合 理：Barry Charles Mazur 氏の業績……………78

数学と諸科学

齋 藤 保 久：感染症の予防と治療に関する数学 ——人的・社会的実情を考慮して——…312
--

書 評

宮地晶彦：ユークリッド空間上のフーリエ解析 I, II (朝倉数学大系, 13, 14) (冨田直人)……………89	M. Pavlović: Function Classes on the Unit Disc: An Introduction (De Gruyter Stud. Math., 52) (田中清喜)……………210
谷口説男：確率幾何解析 (朝倉数学大系, 15) (竹内敦司)……………95	S. Behrens, B. Kalmár, M. H. Kim, M. Powell and A. Ray (eds.): The Disc Embedding Theorem (山田裕一)……………214
K. Fujiwara and F. Kato: Foundations of Rigid Geometry I (EMS Monogr. Math.) (伊藤和広)……………100	B. Kahn: Zeta and L -Functions of Varieties and Motives (London Math. Soc. Lecture Note Ser., 462) (山崎隆雄)……………330
Y. Nishiyama: Martingale Methods in Statistics (Monogr. Statist. Appl. Probab., 170) (佃 康司)……………105	S. Mochizuki: Foundations of p -adic Teichmüller Theory (AMS/IP Stud. Adv. Math., 11) (若林泰央)……………425
I. Farah: Combinatorial Set Theory of C^* -algebras (Springer Monogr. Math.) (小沢登高)……………198	G. Böckle, D. Goss, U. Hartl and M. Papanikolas (eds.): t -Motives: Hodge Structures, Transcendence and Other Motivic Aspects (EMS Ser. Congr. Rep.) (三柴善範)……………431
野村隆昭：球面調和関数と群の表現 (田中雄一郎)…204	

数 学 第 76 卷 総 目 次

学 界 ニ ュ ー ス

お知らせ

三菱財団自然科学研究助成について	112
シンポジウム・研究集会の一覧表について	112
名簿について	112
学会開催地と時期の予定	112
2024 年度日本数学会理事長	220
2024 年度日本数学会賞春季賞	220
2024 年度日本数学会出版賞	220
2024 年 JMSJ 論文賞	220
2024 年度日本数学会代数学賞	220
2023 年度日本数学会応用数学賞	220
2023 年度日本数学会応用数学研究奨励賞	220
2024 年度日本数学会賞秋季賞	437
2024 年度日本数学会幾何学賞	437
2024 年度日本数学会解析学賞	437

2024 年度日本数学会賞建部賢弘賞	437
2024 年度京都大学数理解析研究所共同利用研究 計画	221
2024 年度九州大学マス・フォア・インダストリ 研究所共同利用研究計画	223

集会記録

第 33 回数学史シンポジウム	112
2022 年度多変数関数論冬セミナー	220
研究集会 ‘微分方程式の総合的研究’	221
令和 5 年度第 66 回函数論シンポジウム	336
2023 年度多変数関数論冬セミナー	336
2023 年度日本数学会東北支部会	336
令和 4 年度第 56 回函数論サマーセミナー	437
2023 年度シンポジウム・研究集会記録	438